

# 県営備後第1アパート(1~4号棟)

## ○水抜き操作方法

1. 台所・洗面所・風呂の蛇口を少し開けておきます。(代表箇所のみ表示)

※ (水を流したままのほうが水抜きがいいです)

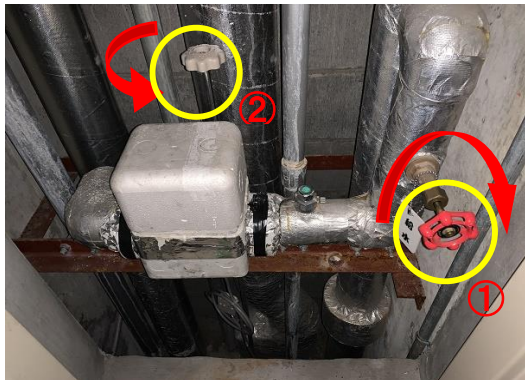
※ 冬季間の水抜き時期は、12月上旬~3月中旬頃を目安に行ってください。



2. 玄関横のパイプシャフト(水道メーターのある所)内で水抜き操作を行います。

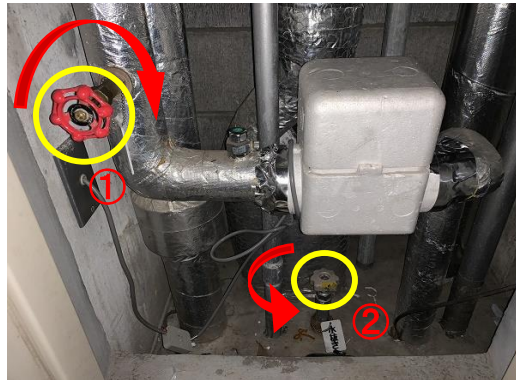
①のハンドル(止水栓)を時計回りに回して、水を止めます。

②のハンドル(水抜き栓)を反時計回りに回して開き、配管内の水を抜きます。



《止水栓、水抜き栓の位置(標準)》

※部屋の向きにより、左右反転タイプもあります。



《止水栓、水抜き栓の位置(1階1,3,5号室)》

3. トイレの給水レバーを操作してタンクの水を全部流して下さい。(長期留守にする場合のみ)

洗濯機のホースも外し、洗濯機蛇口からも空気を入れてください。

4. 室内の蛇口から水滴が出なくなったら、事故防止のため、全ての蛇口を閉めてください。

5. 風呂釜、瞬間湯沸器については、取扱説明書に従って水抜きを行なってください。

以上で水抜きの操作は完了となります。

---

## ○通水操作方法

1. 各蛇口が閉まっていること、洗濯ホースが繋がっていることを確認してください。  
風呂釜、瞬間湯沸器を取扱い説明書に従い、使用できる状態にしてください。

2. 水抜き操作の順番と逆に通水します。

②のハンドル(水抜き栓)を時計回りに回して、閉めます。

①のハンドル(止水栓)を反時計回りに回して、水を出します。

3. 各蛇口を少しずつ、ゆっくり開いて水を出します。

空気も出ますので、水の飛び散りにご注意ください。

※ 水を使用する際は、最初に濁った水が出る場合がありますので、濁り水が出なくなるまで水を出してから、ご使用ください。

---

※ 止水栓、水抜きハンドルは、全開または全閉でご使用ください。  
中途半端な位置での使用は、漏水の原因となりますのでご注意ください。